

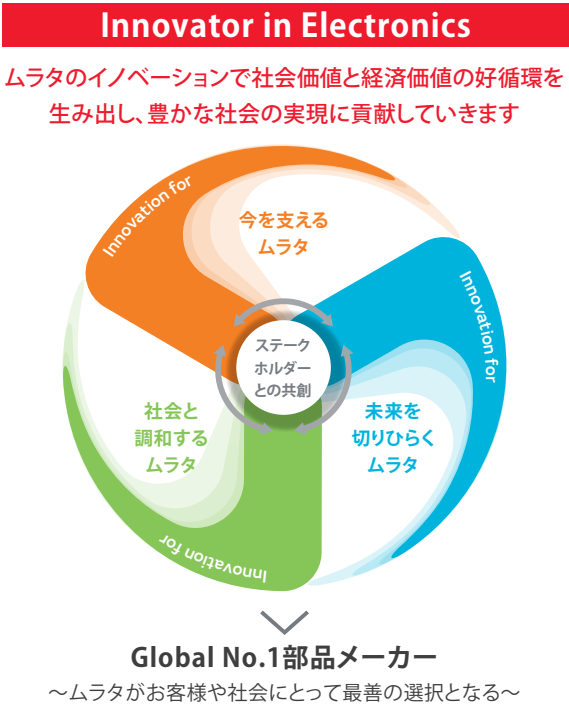
Vision2030成長戦略

大きな変化を迎えているエレクトロニクス市場において、ムラタが今後もInnovatorとして価値を生み出していくためには、技術や社会変化の潮流を大局的に捉えた経営が求められます。「Vision2030」で掲げたありたい姿を実現するために、2つの成長戦略を策定し取り組みを進めています。

ひとつ目が3層ポートフォリオと4つの事業機会を軸にポートフォリオ経営の高度化を目的とした「基盤事業の深化とビジネスモデルの進化」です。

2つ目が2030年に向けてムラタに必要な取り組みを着実に実行し、経営基盤を強化することを目的とした「4つの経営変革の実行」です。

これらをビジョンとして示すことで2030年までの取り組みに一貫性を持たせ、ありたい姿を実現することで、さらなる企業価値向上を目指します。



成長戦略① 基盤事業の深化とビジネスモデルの進化 ▶P.45

3層ポートフォリオ経営では、1層目をコンデンサやインダクタを中心とした標準品型ビジネス、2層目をモジュールやデバイスを中心とした用途特化型ビジネス、3層目をエレクトロニクス領域の拡大にともなうお客様のニーズの変化に対して、価値を提

供することができる新たなビジネスモデルの創出と位置付けています。3層構造のポートフォリオを用いた経営を行い、「通信・モビリティ・環境・ウェルネス」の4つの事業機会において、価値を創出していきます。

3層ポートフォリオ Innovator in Electronics

3層目 新たなビジネスモデル創出	非連続な将来のムラタのコア能力構築
2層目 用途特化型ビジネス(ASC) デバイス・モジュール	事業領域の拡大 新たな付加価値の創造
1層目 標準品型ビジネス(EI) コンポーネント	基盤事業として ムラタの成長を牽引



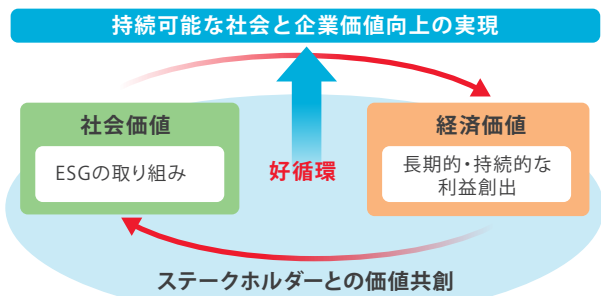
4つの事業機会



成長戦略② 4つの経営変革の実行

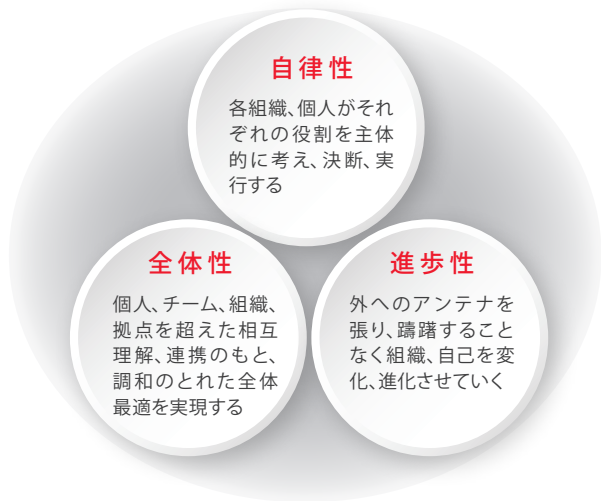
① 社会価値と経済価値の好循環を生み出す経営

ムラタは持続可能な社会の実現への貢献を利益創出と同軸で捉え、イノベーションを通じてお客様や社会に対して価値を創造し、提供し続けるとともに、生み出した利益を再投資してさらなる価値創出に結び付けていくことで、「社会価値と経済価値の好循環」を実現していきます。また、社会課題解決に積極的に取り組むことにより、事業の競争力強化にもつなげていきます。



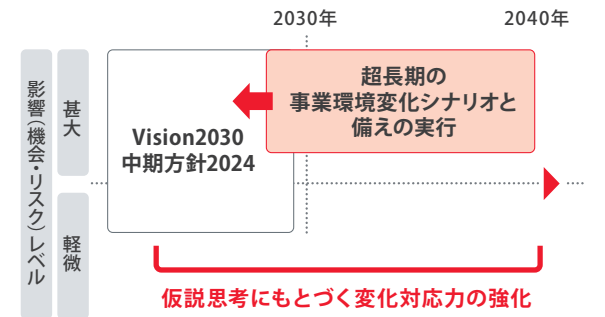
② 自律分散型の組織運営の実践

昨今の外部環境の急速な変化や事業規模の拡大にともない、従業員一人ひとりが全体最適や変化への対応を意識した上で、主体的に考え、スピーディに各現場で決断し行動する重要性が高まっています。「自律性」「全体性」「進歩性」の三つを兼ね備え、各人がやりがいと成長をより実感できる組織運営を目指していきます。



③ 仮説思考にもとづく変化対応型経営

激化する環境変化の中でも、受け身でなく、将来起こり得ることについて仮説を立てて備え、変化に応じて柔軟に軌道修正を行う変化対応型の事業経営を実践します。各機能、各組織が将来に対する情報収集、議論、アクション、モニタリングを継続的に実行し、環境変化への感度を高め、変化対応力を強化していきます。



④ デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進

ムラタは、デジタルトランスフォーメーション(DX)を「ムラタ内外の人・組織(業務)を、デジタルで縦横無尽につなぎ、プロセスを短く、早く、かつ見える化することで、飛躍的な競争力と顧客価値の向上をドライブするもの」と定義し、変革のための取り組みを加速させていきます。

